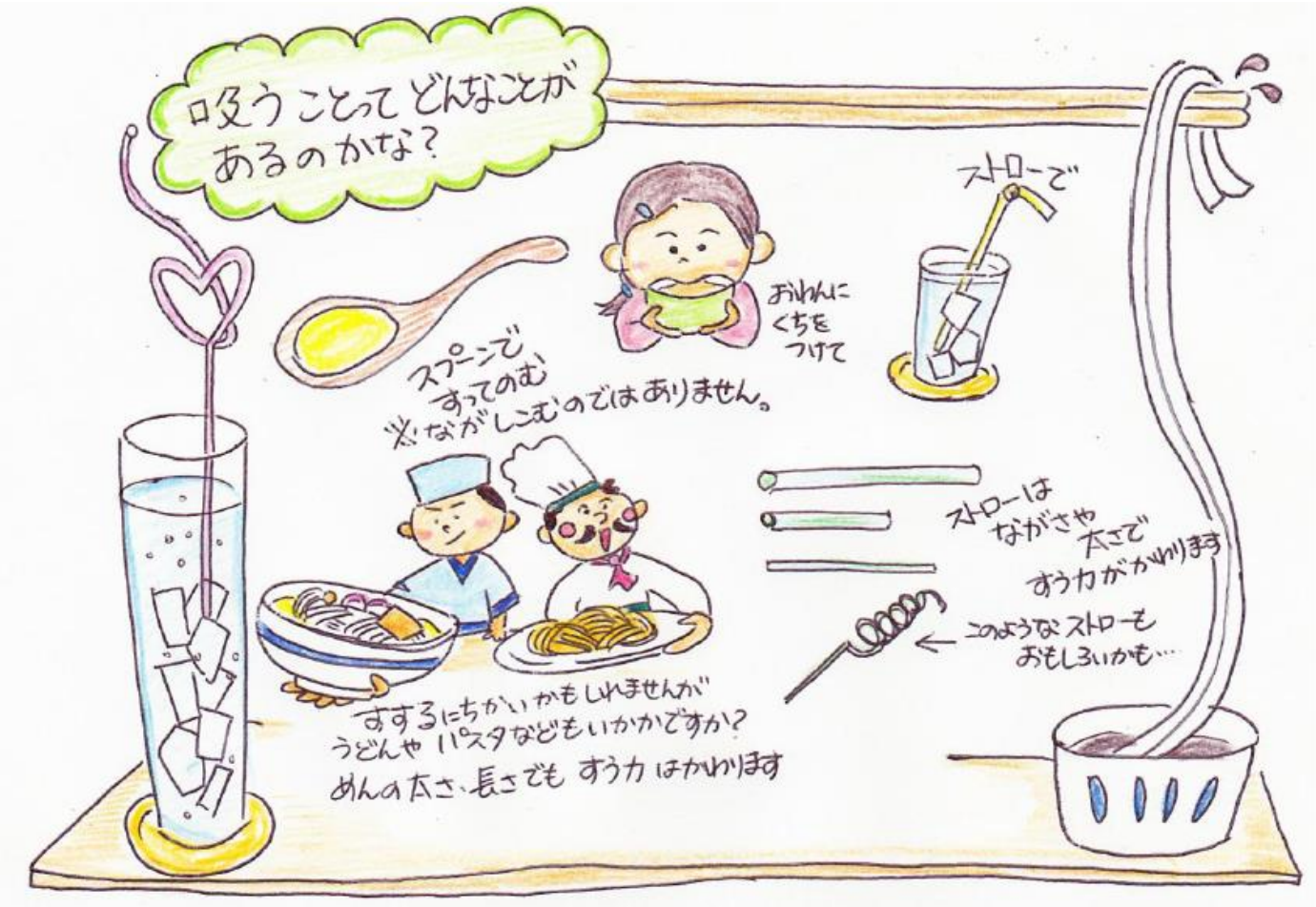
きこえとことばの教室便り

佐世保市立清水小学校 きこえとことばの教室 No. 7

第６号より、正しい発音を育むために、食生活の中で気をつけてほしいことについて紹介をしています。 今回は、「Ｂ．Ｃ．Ｓ．Ｓ（Ｂ：ブローイング（吹く）．Ｃ：チューイング（噛む）．Ｓ：サッキング（吸う）．Ｓ：スワローイング（飲み込む）の略）」のＢ：**ブローイング（吹くこと）**、Ｓ：**サッキング（吸うこと）**についてお伝えします。

「B, C, S, S」で発音の基礎を作る～その②～（吸う）

正しい発音を育むためには、息のコントロールが上手にできることが必要です。息のコントロールが上手にできるということは、「息を口から吸って口から出す」や「息を鼻から吸って鼻から出す」など区別をして息を吸ったり吐いたりする力があるということです。

例えば、ナ行やマ行の音は、鼻から息が出ますが、息のコントロールができないと鼻から息がでず、鼻づまりの声のような不明瞭な発音になることがあります。 そのため、無意識に息を吸ったり吐いたりする呼吸とは別に、意識をして息を吸ったり吐いたり（吹いたり）する練習が必要です。吸うこと、吹くことは発音の明瞭化にも必要不可欠なものです。噛むことと同じように、吸うこと・吹くことも意識的に増やしてみましょう。